

伝えたい事柄を明確に書くことができる児童

メモの活用で  
思考の可視化

目的や意図に応じた情報の  
取舍選択ができたよ。

ステップ3  
たしかめる

メモを基に  
他者と**交流する**

これで伝わるかな

分かりやすく伝えるための  
情報のつなげ方が分かったよ。

ステップ2  
まとめる

メモに収集した  
情報を**整理する**

どうつなげようかな

ステップ1  
あつめる

必要な情報の  
視点を持って  
メモに**収集する**

目的や意図に合うかな

実態

伝えたい事がうまく  
書けない…どうしたら  
いいの？



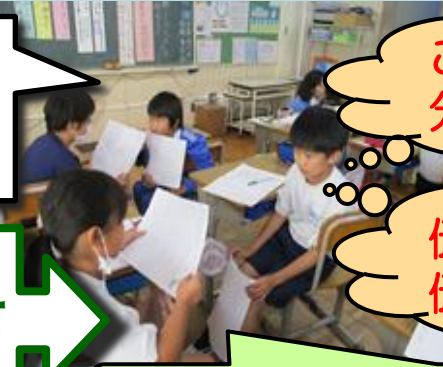
構成シートに沿って  
書かせても内容が  
分かりにくい…



たしかめる

「明確に書く要素」  
から自己評価や  
他者評価をさせる

声に出したり  
見せ合ったりして  
伝え合う



この言葉は3年生に  
分かるかな…

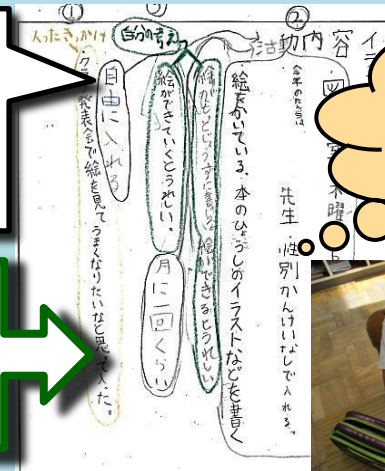
伝えたい事を中心から  
伝えているかな…

自分が考えた文章の分かりやすさを見直せたよ。

まとめる

語句の関係性や  
文章構成などの  
身に付けさせたい  
言語知識を押さえる

線で繋いだり  
数字や印を付け  
たりする



この情報は「クラブの  
よさ」にまとめて…  
先に伝えるのは…

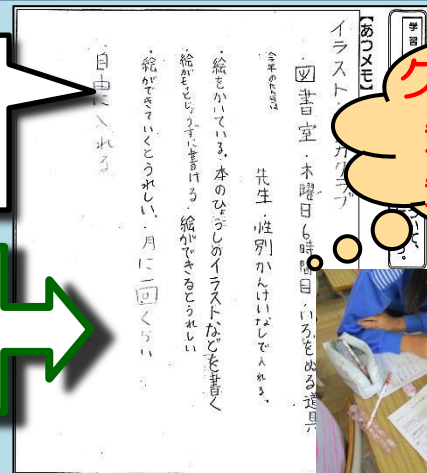
言葉のつながりや  
分かりやすく伝える  
ための順序が分かっ  
たよ。



あつめる

「目的や意図に  
合っているか」という  
視点を持たせる

単語や短文で  
メモに書き出す



クラブについて3年生が  
知らない事は…  
知らせたい事は…

どんな情報があると  
いいのか考えられ  
たよ。



○成果  
●課題

- メモの活用により必要な情報を適切に取捨選択し、つなげる力がつき、明確に書く力の伸長につながった。
- メモを活用する力を身に付けるためには継続指導が必要である。

◇提言

◇国語科の書くことの領域に限らず、自分の伝えたい事柄を分かりやすく伝える事が必要となる様々な場面において、メモの活用が可能である。